

日教組 第164回中央委員会



▲討論に参加する大塚事務局長

ちようど一年前、兵庫の学校現場では、卒業式や入学式が開催できるのかと不安と葛藤が渦巻くなか、様々な感染症対策を講じた中で実施された。そこにあるのは、「できない」から立ち止まるのではなく、「子どもたちのために何とかしたい」と子どもたちの思いに寄り添って考える教職員の姿である。

大塚 昭宏さん

3月16日、日本教育会館において、日教組第164回中央委員会が感染症対策が講じられるなか、開催された。中央委員会では、経過報告と当面する運動方針が提案された。

また、兵庫教育文化研究所事務局長の大塚昭宏さんがコロナ禍における学校現場の実態について討論をおこなった。(抜粋)

執行部の提出議案はすべて可決決定され、「職場のすべてのなかまの連帯にむけ組織拡大・強化をすすめる特別決議」と「3・11を忘れず、脱原発社会をめざす特別決議」も採択された。

コロナ禍で学校現場からの声をもとに、様々な形で教育政策や補正予算、勤務労働条件の改善を訴えた結果、組合の存在意義を発揮する機会となった。また、これまで「当たり前」だと思っていたことが「当たり前」ではなく、新たな形に変わったことで、結果的に「ビルド&ビルド」となっていた学校現場が立ち止まって見直すきっかけになったのではないかと。感染症流行以前の状況に戻すという発想にとどまらず、阪神・淡路大震災の教訓に学びながら、現場の教職員の協力・協働による教育の「創造的復興」をめざす必要がある。

一方で、兵庫教育文化研究所が実施した子ども虐待実態調査の回答から、家庭の貧困や一人親家庭の就労環境等、学校だけでは解決しがたい子どもたちを取り巻く難しい背景が浮き彫りとなった。経済格差が広がっている現在、就労環境や労働環境の整備を含め、こうした生活困難な家庭を社会全体でどう支えるのか、教育と福祉の連携の具体的なあり方について、政策提言をおこなっていく必要がある。そして、すべての子どもたちが「学びたいことが学べる」教育条件整備や給付型奨学金のさらなる拡充が必要である。

そのためには、日政連議員の力が必要である。来る第26回参議院議員選挙において、「古賀ちかげ」さん

の必勝にむけて一致団結してとりくむ。

・尼崎市議会議員選挙 (6月6日執行予定)
宮城 あや

・淡路市議会議員選挙 (7月執行予定)
多田 耕造

・赤穂市議会議員選挙 (4月4日執行)
家入 時治

・香美町議会議員選挙 (4月25日執行予定)
東垣 のりお

家族・友人・知人への声掛けをお願いします！

第1回新旧地域組合三役合同会議



21年度兵教組運動がスタート！

3月27日、ラッセホールをはじめ各地区におけるサテライト会場にて、第1回新旧地域組合三役合同会議を開催し、年度当初の取り組みについての提案、質疑・応答、討論がおこなわれた。新しい体制のもと、組織の拡大・強化をはじめとする新年度にむけての意思統一がはかられ、21年度の兵教組のとりくみのスタートを切った。

冒頭、川原中央執行委員長よりあいさつがあり、その中で21年度の新規採用教職員の全員加入をはかるため、着任早々の働きかけを強力に・ていねいにおこなうよう求めた。

また、各地区・専門部会のはじめ各地区におけるサテライト会場にて、第1回新旧地域組合三役合同会議において、「地方自治体選挙立候補予定者推薦・支持に関する件」が承認された。

推薦・支持する立候補予定者

・宝塚市長選挙 (4月11日執行予定)
山崎 はるえ

・伊丹市長選挙 (4月11日執行予定)
藤原 やすゆき

・淡路市長選挙 (4月25日執行予定)
かど 康彦

・宍粟市議会議員選挙 (5月2日執行予定)
大畑 利明

21年度 兵教組本部執行体制



川原 芳和
中央執行委員長
(芦屋市教組)



森戸 卓也
中央執行副委員長
財政・広報部長
(豊岡市教組)



小西 宏典
書記長
(川西川辺教組)



松浦 明日香
書記次長
法政部長
(兵教組多紀教組)



福山 香織
中央執行委員
生活・女性部長
(伊丹市教組)



山内 圭一
中央執行委員
教財部長
(宝塚市教組)



藤井 優策
中央執行委員
組織部長
(多可町・西脇市教組)



深江 理紗
中央執行委員
賃対・青年部長
(姫路市教組)



谷 哲一
中央執行委員
教文部長
(佐用町教組)



木南 拓也
中央執行委員
総務部長
(兵教組職員)

兵庫教育文化研究所



村尾 克彦
教育研究専門委員
事務局次長
(美方郡教組)



武田 啓道
教育研究専門委員
事務局次長
(津名教組)



谷口 直子
教育研究専門委員
副所長
(明石市教組)



藤井 司郎
教育研究専門委員
副所長
(宍粟市教組)

Welcome Hyogo Teachers' Union

ようこそ兵教組へ！

このたび、兵庫県の教職員に採用され、「子どもたちや学校教育に携わる仕事」に就かれたみなさん、おめでとうございます。私たちは、みなさんを心より歓迎します。

私たち兵庫教育文化研究所(兵教組)は、県内の義務教育諸学校に働くほとんどの教職員が加入し、同じ仲間として手を携え、子どもたちが夢や希望を持てる学校づくり、教職員が退職までいきいきと働き続けることができることの通いあう協力・協働の職場づくりをめざしています。

また、1947年の結成以来、教職員の生活と労働条件の改善とともに、子どもたちの教育の充実を運動の中心課題に位置付けて、「保護者や地域とともに歩む」という願いをもつて活動してきました。

今後も、兵庫の教職員にとつてなくてはならない大切な組織であり続けるため、若いみなさんの参画と協働が必要です。

みなさんの加入を心からお待ちしています。ともにがんばりましょう。

活動のお知らせや報告をお届ける「LINE公式アカウント」への登録も左のQRコードからぜひ、お願いします！



『こどもの詩と絵 第41集』より

今年度は、感染症拡大防止のため『ひょうご2020 こどもの詩と絵 第41集』表彰式・発刊集会は、中止とし、入選された子どもたちには表彰状と発刊本を届けさせていた。

兵庫県教職員組合・ひょうご芸術文化センターは、兵教組教育文化・社会貢献事業の一環として、県内各地域の小・中学生による作品集『こどもの詩と絵』の編集に継続してとりくみ、今回で41集を迎えた。

今回は、詩647編、絵1,862点の応募総数の内、入選した詩126編、絵207点が掲載されている。

子どもたちが普段の生活や体験の中から、自分が見たこと、感じたこと、考えたことなどを『詩や絵』を通して表現した作品は、私たちにほのぼのとした温かさを与えてくれる。この本が、学校や家庭で読み、語られ、人々に元氣や癒し、励ましを与えるものとなることを期待する。



「こどもと詩と絵」(表紙)

「ひさしぶりの友達と再会」
淡路市立大町小学校 6年 東谷 明日加

★本紙では、入選した詩や絵の一部を紹介いたします。また今後、教育ひょうごやさまざまな発刊物で、子どもたちの作品を掲載していきます。

「コロナのやつめ」

丹波市立大路小学校 5年
今度の水曜日
ミュージカルの練習
楽しみ
でも

コロナのせいで
練習時間は短いし
練習の日も少ない
毎年一週間に一回くらいはあるのに
コロナのやつめ
「ミュージカル」って
大好きな習い事なのに…
発表こうえんも
一月だし
練習がない間に
わすれるかもしれないじゃないか
コロナのやつめ
ゆるさない



「おとうさん」

太子町立龍田小学校 1年 西口 遙心



「夢に向かって」

養父市立八鹿青溪中学校
3年 山田 祐衣奈



「見上げた空」

佐用町立上津中学校 3年 山本 悠貴

「日々を生きる」

香美町立小代中学校 3年
中村 凜花

鳴らない目覚まし時計
寝坊が許される生活
「何も無い」が日常になりそうで怖かった
四月と五月

世界中で発せられた言葉

「当たり前の日々って

実は当たり前じゃなかったんだね。」

外の景色に目を細めた
六月のこと

夏休みのない八月

十月に行く修学旅行

縮小される行事

私たちはいつまでこの長い夜に

閉じこめられるのだろうか

明けない夜はないと誰かが言っていたっけ

はやく

画面の向こうの君に会いたい

「お父さんのめ」

姫路市立青山小学校 2年
飯塚 理人

お父さんの手には
まめができています。
力をつかうしことをしていて、
けがをした上にまめができた。
でっかくって
かたくて

ぎゅっとにぎっても

おしつぶすことができない。

それを見たお父さんは

カサカサした声で

「わっはっは。」

とわらう。

いつかぼくも

力をつかうしことをしたいな。

そうになったら

ぼくの手にも

でっかいまめ、できるかな。

「ごめんなさい」

たつの市立河内小学校 4年
高曾 千尋

言ったんだ。

わたしの弟が、

「ごめんなさい。」

って大声で。

わたしはうれしかった。

とてもとてもうれしかった。

わたしは小さいときから、悪いことをしたら

「ごめんなさい。」

って言うのが当たり前だと思ってた。

でも、わたしの四才の弟は言えなかった。

前までは、ぜったいにあやまらなかった。

すねてにげていた。

でも、言えたら

ちゃんと伝わるように言えた。

わたしは安心した。

弟がやっと言えたことがうれしくて、

心があたたかくて、

ほっとした気持ちでいっぱいだった。

やっぱり大事な言葉だな。

「ごめんなさい。」は



「一年生の時の思い出」

神戸町立神崎小学校 6年 辻井 凰太郎



「たまごからねこがうまれた」

赤穂市立赤穂小学校 2年 金井 もも

「やぐら」

加古川市立神吉中学校 1年
田中 宏

春のさくらは、ピンクできれい。

さくら並木も気分がいいし、

一本さくらの大木は見事。

ちようやみつばちやひよどりがやってきて

大にぎわい。

夏のさくらは、緑の葉がきれい。

暑い日ざしから守ってくれる。

セミが鳴き鳥たちは巣を作ってひなを育てる

秋のさくらは、紅葉が美しい。

あざやかな赤や黄に色を変え、風にゆれる。

虫も鳥もあまり来なくなった、

こんなにきれいなのに。

冬のさくらは、眠っている。

冷たい風に身をさらし、じっとしている。

さみしい。

でもよく見てごらん。

枝には小さなつぼみがすっかり生まれている。

春のあたたかい風を待って。



「光さす神子畑鉄橋」

朝来市立山口小学校 5年 岸下 伊織

「おとがいっぱい、ぼくのふるさと」

豊岡市立福住小学校 1年
小坂 青楓

なつのおと

みんみん ジーピー せみのがつしよう

つくつくぼうしもなきだした。

かなかなかなかな、ひぐらしさん

いつもよりはよいよね。

あきのおと

さらさら はっぱがおちている。

あか あお きいろのじゅうたんを

だれかが さくさくあるくおと

きやーきやー としかがなく

ふゆがくるよとないている。

ふゆのおと

しんしん しんしん

ゆきがふる。

しーんとしずかなふゆのあさ

ごろごろ ころがすゆきだるま

ぽーんぽーんとゆきがっせん

たのしいたのしい ゆきあそび

はるのおと

ぴちやぴちやちやぶちやぶ

ゆきがとけ おがわに水ながれだす。

はるがきたね。

うれしいね。

ぶーんぶーんとみつばちさん

はるはやっぱいいそがしそう。

みみをすませばきこえるよ。

ぼくのふるさとのできななおと